

## BD

ボルテゾミブ	1.3m g /m <sup>2</sup>	(Day1・4・8・11)	※週1回などバリエーションあり
デキサメタゾン	20mg	(Day1・4・8・11)	※週1回などバリエーションあり
3週間毎			

薬剤名	投与方法	標準投与量	Day1	Day4	Day8	Day11
ボルテゾミブ	S.C	1.3mg/m <sup>2</sup>	↓	↓	↓	
デキサメタゾン	DIV	20 m g	↓	↓	↓	↓

★ボルテゾミブによる肺障害・末梢性ニューロパチー・心障害等に注意。

※細胞性免疫の低下のためアシクロビルの予防投与が推奨。

# BLD

ボルテゾミブ	1.3mg/m <sup>2</sup>	(Day1・4・8・11)	※週1回などバリエーションあり
レナリドミド	25mg	(Day1～14)	※腎機能により用量調節
デキサメタゾン	40mg	(Day1・8・15)	週1回 ※20mgで投与する場合あり

3週間毎

薬剤名	投与方法	標準投与量	Day1	Day8	Day15
ボルテゾミブ	S.C	1.3mg/m <sup>2</sup>	↓	↓	
レナリドミド	PO	25mg	(Day1～14)		
デキサメタゾン	PO	40mg	↓	↓	↓

★ボルテゾミブによる肺障害・末梢性ニューロパチー・心障害等に注意。

※細胞性免疫の低下のためアシクロビルの予防投与が推奨。

★レナリドミドは妊娠回避のため専用の手順を踏み院内にて処方。

※静脈血栓のリスクに応じて抗血栓薬の投与が推奨。

## DBd

ダラツムマブ	16m g/kg	【1～3クール目】 (Day1・8・15)	
		【4～8クール目】 (Day1)	
		【9クール目以降】 (Day1)	
ボルテゾミブ	1.3mg/m <sup>2</sup>	(Day1・4・8・11)	※週1回などバリエーションあり
デキサメタゾン	40mg	(Day1・8・15)	※ダラツムマブ投与日は注射にて投与・20mgの場合もあり
※ボルテゾミブ・デキサメタゾンは8クールまでで終了			
3週間毎			

薬剤名	投与方法	標準投与量	Day1	Day8	Day15
ダラツムマブ	DIV	16mg/kg	↓	(↓)	(↓)
ボルテゾミブ	S.C	1.3mg/m <sup>2</sup>	↓	↓	
デキサメタゾン	PO	40mg	↓	↓	↓

★ボルテゾミブによる肺障害・末梢性ニューロパチー・心障害等に注意。

※細胞性免疫の低下のためアシクロピルの予防投与が推奨。

★ダラツズマブによるインフュージョンリアクション・呼吸困難に注意。

※COPD・気管支喘息の既往のある患者には気管支拡張剤・吸入ステロイドの投与を推奨。

また、輸血を予定する患者の場合、間接クームス試験への干渉について関係者に周知する。

## DC d (DK d) 療法

ダラツムマブ (皮下) 1800mg/body 【1～2クール目】 (Day1・8・15・22)  
 【3～6クール目】 (Day1・15)  
 【7クール目以降】 (Day1)

カルフィルゾミブ 20mg/m<sup>2</sup> 【最初の投与】 (Day1・2)  
 56mg/m<sup>2</sup> 【2回目の投与 以降】 (Day1・2・8・9・15・16)

デキサメタゾン 40mg /週 (Day1・2・8・9・15・16は20mgずつに分け点滴にて投与)  
 ※デキサメタゾンは年齢等により20mg /週に減量

4週間毎

薬剤名	投与方法	標準投与量	Day1	Day2	Day8	Day9	Day15	Day16	Day22
ダラツムマブ	SC	1800mg/body	↓		(↓)		(↓)		(↓)
カルフィルゾミブ	DIV	56mg/m <sup>2</sup> 初回投与は 20mg/m <sup>2</sup>	↓	↓	↓	↓	↓	↓	
デキサメタゾン	DIVorPO	20mg	↓	↓	↓	↓	↓	↓	40mg

※ヘルペスウイルス予防薬が推奨、抗血小板薬は適宜検討

★カルフィルゾミブによる高血圧・心不全・不眠・疲労等に注意。

★ダラツムマブによるインフュージョンリアクション・呼吸困難に注意。

※COPD・気管支喘息の既往のある患者には気管支拡張剤・吸入ステロイドの投与を推奨。

また、輸血を予定する患者の場合、間接クームス試験への干渉について関係者に周知する。

## DLd (Dara皮下)

ダラツムマブ (皮下) 1800mg/body 【1~2クール目】 (Day1・8・15・22)  
 【3~6クール目】 (Day1・15)  
 【7クール目以降】 (Day1)

レナリドミド 25mg (Day1~21) ※腎機能により用量調節

デキサメタゾン 40mg (Day1・8・15・22) ※ダラツムマブ投与日は前投薬として20mg と次の日に20mg  
 ・20mgの場合もあり

4週間毎

薬剤名	投与方法	標準投与量	Day1	Day8	Day15	Day22
ダラツムマブ	SC	1800mg/body	↓	(↓)	(↓)	(↓)
レナリドミド	PO	25mg	→	→	→	
デキサメタゾン	PO	40mg	↓	↓	↓	↓

★レナリドミドは妊娠回避のため専用の手順を踏み院内にて処方。

※静脈血栓のリスクに応じて抗血栓薬の投与が推奨。

★ダラツズマブによるインフュージョンリアクション・呼吸困難に注意。

※COPD・気管支喘息の既往のある患者には気管支拡張剤・吸入ステロイドの投与を推奨。

また、輸血を予定する患者の場合、間接クームス試験への干渉について関係者に周知する。

# DLd

ダラツムマブ	16m g /kg	【1～2クール目】 (Day1・ 8・ 15・ 22)
		【3～6クール目】 (Day1・ 15)
		【7クール目以降】 (Day1)
レナリドミド	25mg	(Day1～21) ※腎機能により用量調節
デキサメタゾン	40mg	(Day 1・ 8・ 15・ 22) ※ダラツムマブ投与日は注射にて投与・ 20mgの場合もあり
4 週間毎		

薬剤名	投与方法	標準投与量	Day1	Day8	Day15	Day22
ダラツムマブ	DIV	16mg/kg	↓	(↓)	(↓)	(↓)
レナリドミド	PO	25mg	→	→	→	
デキサメタゾン	PO	4 0 m g	↓	↓	↓	↓

★レナリドミドは妊娠回避のため専用の手順を踏み院内にて処方。

※静脈血栓のリスクに応じて抗血栓薬の投与が推奨。

★ダラツズマブによるインフュージョンリアクション・呼吸困難に注意。

※COPD・気管支喘息の既往のある患者には気管支拡張剤・吸入ステロイドの投与を推奨。

また、輸血を予定する患者の場合、間接クームス試験への干渉について関係者に周知する。

## DPd (Dara皮下)

ダラツムマブ (皮下) 1800mg/body 【1～2クール目】 (Day1・8・15・22)  
 【3～6クール目】 (Day1・15)  
 【7クール目以降】 (Day1)  
 ポマリドミド 4mg (Day1～21) ※副作用により適宜減量  
 デキサメタゾン 40mg (Day1・8・15・22) ※ダラツムマブ投与日は前投薬として20mg と次の日に20mg  
 ・20mgの場合もあり  
 4週間毎

薬剤名	投与方法	標準投与量	Day1	Day8	Day15	Day22
ダラツムマブ	SC	1800mg/body	↓	(↓)	(↓)	(↓)
ポマリドミド	PO	4mg	→	→	→	
デキサメタゾン	PO	40mg	↓	↓	↓	↓

★ポマリドミドは妊娠回避のため専用の手順を踏み院内にて処方。

※静脈血栓のリスクに応じて抗血栓薬の投与が推奨。

★ダラツズマブによるインフュージョンリアクション・呼吸困難に注意。

※COPD・気管支喘息の既往のある患者には気管支拡張剤・吸入ステロイドの投与を推奨。

また、輸血を予定する患者の場合、間接クームス試験への干渉について関係者に周知する。

# ELd

エロツズマブ	10m g/kg	【1～2クール目】 (Day1・8・15・22)
		【3クール目以降】 (Day1・15)
レナリドミド	25mg	(Day1～21) ※腎機能により用量調節
デキサメタゾン	40mg	(Day1・8・15・22) ※エロツズマブ投与日は前日に28mg服用 (当日の注射と合わせて40mg) ※20mgの場合もあり
4週間毎		

薬剤名	投与方法	標準投与量	Day1	Day8	Day15	Day22
エロツズマブ	DIV	10mg/kg	↓	(↓)	↓	(↓)
レナリドミド	PO	25mg	→	→	→	
デキサメタゾン	PO	40mg	↓	↓	↓	↓

★レナリドミドは妊娠回避のため専用の手順を踏み院内にて処方。

※静脈血栓のリスクに応じて抗血栓薬の投与が推奨。

★エロツズマブによるインフュージョンリアクション・白内障症状・間質性肺炎・倦怠感等に注意。



# EPd

エロツズマブ 10mg/kg 【1～2クール目】 (Day1・8・15・22)  
 20mg/kg 【3クール目以降】 (Day1)  
 ポマリドミド 4mg (Day1～21) ※腎機能により用量調節  
 デキサメタゾン 40mg (Day1・8・15・22) ※エロツズマブ投与日は前日に28mg服用 (当日の注射と合わせて40mg)  
 ※20mgの場合もあり  
 4週間毎

薬剤名	投与方法	標準投与量	Day1	Day8	Day15	Day22
エロツズマブ	DIV	10mg/kg 3クール以降は 20mg/kg	↓	(↓)	(↓)	(↓)
ポマリドミド	PO	4 mg	→	→	→	
デキサメタゾン	PO	40 mg	↓	↓	↓	↓

★ポマリドミドは妊娠回避のため専用の手順を踏み院内にて処方。

※静脈血栓のリスクに応じて抗血栓薬の投与が推奨。

★エロツズマブによるインフュージョンリアクション・白内障症状・間質性肺炎・倦怠感等に注意。

# MCNU-VMP

ラニムスチン	70mg/m <sup>2</sup>	(Day1)
ビンデシン	2mg/m <sup>2</sup>	(Day1・22)
メルファラン	6.5mg/m <sup>2</sup>	(Day1～4・22～25)
プレドニゾロン	60mg/m <sup>2</sup>	(Day1～4・22～25)
6週間毎		

薬剤名	投与方法	標準投与量	Day1	Day9～12	Day22
ラニムスチン	DIV	70mg/m <sup>2</sup>	↓		
ビンデシン	DIV	2mg/m <sup>2</sup>	↓		↓
メルファラン	PO	6.5m g/m <sup>2</sup>	→ (Day1～4・22～25)		
プレドニゾロン	PO	60m g/m <sup>2</sup>	→ (Day1～4・22～25)		

# VAD

ビンクリスチン	0.4m g / m <sup>2</sup>	(Day1~4)	※24時間持続、4日間合計で2 m g まで
ドキシソルビシン	9mg/m <sup>2</sup>	(Day1~4)	※24時間持続
デキサメタゾン	40mg	(Day1~4・9~12・17~20)	
4週間毎	3~4コース		

薬剤名	投与方法	標準投与量	Day1~4	Day9~12	Day17~20
ビンクリスチン	DIV	0.4mg/m <sup>2</sup>	→		
ドキシソルビシン	DIV	9mg/m <sup>2</sup>	→		
デキサメタゾン	DIV	40m g	→	→	→

- ★ビンクリスチンとドキシソルビシンは混合して持続投与。
- ★ビンクリスチンによる末梢神経障害・腸管麻痺に注意。
- ★ドキシソルビシンにより、尿が赤くなることがあります。心機能障害に注意。

## wKd

カルフィルゾミブ	20mg/m <sup>2</sup>	【最初の投与】	(Day1)
	70mg/m <sup>2</sup>	【2回目の投与以降】	(Day1・8・15)
デキサメタゾン	40mg	(Day1・8・15・22)	※カルフィルゾミブ投与30分前までに服用
※適宜減量、また10クール以降のDay22の服用はなし			
4週間毎			

薬剤名	投与方法	標準投与量	Day1	Day8	Day15	Day22
カルフィルゾミブ	DIV	70mg/m <sup>2</sup> 初回投与は 20mg/m <sup>2</sup>	↓	↓	↓	
デキサメタゾン	PO	40mg	↓	↓	↓	(↓)

※ヘルペスウイルス予防薬が推奨、抗血小板薬は適宜検討

★カルフィゾミブによる高血圧・心不全・不眠・疲労等に注意。

## wVMP

ボルテゾミブ	1.3m g / m <sup>2</sup>	(Day1・8・15・22)
メルファラン	6mg/m <sup>2</sup>	(Day1～4)
プレドニゾロン	40mg/m <sup>2</sup>	(Day1～4)
5週間毎		

薬剤名	投与方法	標準投与量	Day1	Day8	Day15	Day22
ボルテゾミブ	S.C	1.3mg/m <sup>2</sup>	↓	↓	↓	↓
メルファラン	PO	6mg/m <sup>2</sup>	→ (Day1～4)			
プレドニゾロン	PO	40mg/m <sup>2</sup>	→ (Day1～4)			

★ボルテゾミブによる肺障害・末梢性ニューロパチー・心障害等に注意。

※細胞性免疫の低下のためアシクロビルの予防投与が推奨。

## ボルテゾミブ

ボルテゾミブ 1.3m g /m<sup>2</sup> (Day1・4・8・11) ※週1回などバリエーションあり

デキサメタゾン 20mg (Day1・4・8・11) ※週1回などバリエーションあり

3週間毎

薬剤名	投与方法	標準投与量	Day1	Day4	Day8	Day11
ボルテゾミブ	S.C	1.3mg/m <sup>2</sup>	↓	↓	↓	
デキサメタゾン	DIV	20 m g	↓	↓	↓	↓